

平成28年11月8日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ  
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全  
 (コード番号：8732 東証第一部)  
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦  
 (TEL. 03-4540-3804)

### 平成28年10月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成28年10月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

#### 記

年 月	平成 27 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	593	440	534	470	456	544	510	552	558	464	387	490
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	164,450	87,835	93,958	80,634	80,504	92,881	83,564	89,674	95,887	71,822	55,460	64,288
顧客口座数 (単位：口座)	253,179	254,732	256,494	258,189	259,825	261,736	263,685	265,521	267,463	268,916	270,219	271,544
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	48,114	47,653	47,961	48,896	48,707	50,101	50,236	48,253	52,815	51,725	50,355	49,480

年 月	平成 28 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	572	559	529	473	468	738	551	401	525	362		
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	92,445	96,278	70,156	74,405	68,455	91,113	88,556	61,925	69,423	55,772		
顧客口座数 (単位：口座)	272,521	274,164	275,538	276,891	278,360	280,816	282,791	284,866	286,494	287,842		
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	60,316	60,224	59,769	59,413	59,478	57,133	57,278	58,715	58,608	59,136		

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成20年5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
4. 平成23年8月より差金決済取引（CFD）の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

#### <10月次の概況>

10月の外国為替市場は、米ドル／円については、1ドル=101円台前半で取引が始まり、月初に発表された米国経済指標が良好な結果となったことからドルが買われ、6日には104円台前半をつけました。その後は、日米の金融政策を巡る思惑が交錯する中、方向感に乏しい相場展開となり、103円台前半から104円台後半にかけてのレンジで推移しました。しかし、下旬から月末にかけては、米国長期金利の上昇を背景にドルが再び買われ、28日には月の高値となる105円台半ばをつけた後、米国大統領選においてクリントン候補のメール問題が報じられ不透明感が増すとやや値を戻し104円台後半で月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、上旬から中旬にかけてポンド／円が大きく動いたものの総じて値動きの乏しい相場推移となり、米ドル／円を含めての全体としての変動率は、低調であった前月とほぼ同様の水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、外国為替相場の変動率低迷や方向感の乏しさが投資家の取引意欲に影響を与え前月比20%減少の557億通貨単位となりました。一方、営業収益は、外国為替取引高の大幅減少に加え、前月増加したシステム子会社の売上高反動減等により前月比31%減少の362百万円となりました。また、顧客基盤については、顧客口座数は前月比1,348口座増加の286,494口座と増加ペースがダウンした一方、外国為替取引預り証拠金は、相場回復による顧客含み損益の改善はあったものの、59,136百万円と前月末比527百万円の増加にとどまりました。なお、このうち、BtoB取引先である金融法人からの預り証拠金は、前月末比586百万円増加の10,148百万円でありま

以 上